

【単位互換申請手続きガイド】～基礎分野編～

■ 対象学科 : 鍼灸あん摩マッサージ指圧科 ・ 鍼灸科

■ 対象者 : 日本国内の4年制大学・短期大学もしくは医療関係職種養成校を卒業した方は、本校が設定している単位を本校入学以前の学校で取得したとして、履修免除を受けることができます。
履修免除を受けた場合は、授業に出席することができません。
(履修免除には事前審査があります。)

■ 対象科目 : 1年次 人体の構造、人体の機能、健康と栄養(栄養学)
保健体育、心理・倫理、外国語

2年次 薬理学基礎、古典

※ 単位互換の上限は、基礎科目14単位のうち**7単位**までです。

| 学年 | 授業科目 | 単位互換可能科目 | 単位数 |
|-----|--------------|----------|-----|
| 1年次 | 自然科学A(人体の構造) | 解剖学 | 2 |
| | 自然科学B(健康と栄養) | 栄養学 | 2 |
| | 自然科学C(人体の機能) | 生理学 | 1 |
| | 自然科学D(保健体育) | 保健体育 | 2 |
| | 社会科学(心理・倫理) | 心理学 | 2 |
| | 人文科学(外国語) | 英語 | 1 |
| 2年次 | 自然科学E(薬理学基礎) | 薬理学 | 2 |
| | 人文科学(古典) | 古典 | 2 |

| 授業科目 | 授業概要 |
|------------------------------|--|
| 自然科学A(人体の構造) 自然科学C(人体の機能) | 生命とは何か。人体を構築する構造の名称と形態を細胞・組織・器官・器官系・ヒトと段階を追って総合的に理解できることを目指す。また、それらの構造がどのような機序で機能しているかも関連付けて理解できる様にする。 |
| 自然科学B(健康と栄養) | 栄養の語源は「営食養生」である。つまり、食生活を営むことによって、生命を養い、健康にならなければならない。その意義について学ぶ。 |
| 自然科学D(保健体育) | 医療従事者として現場で活用できる知識を保健体育の視点から学習する。 |
| 社会科学(心理・倫理) | 人間の心という主観の世界を臨床心理学(特に人間性心理学)を通して学び、臨床における患者との対話(コミュニケーション)の大切さを学ぶ。 また、対話と治療とをどのように連動させていくか、全人的医療における医療面接の意義と効果を知的にも体験的にも理解する。 |
| 人文科学(外国語) | 医療面接において患者さんと英語で対応できるよう学習する。医療・疾患用語の理解とその発音を学ぶ。患者持参の英文カルテを読解できるよう学ぶ。授業は対話型、及びグループ形式で学習する。 |
| 自然科学E(薬理学基礎) | 漢方医学の基本的知識、特に鍼灸治療と漢方薬治療における共通認識、差異を理解し、説明でき、代表的な漢方方剤の適応、使用目標などを理解することを目的とする。 |
| 人文科学(古典) | 前半は、東洋医学を学ぶ上で必要な基礎知識となる中国の歴史・文化、諸思想を講義しながら、併せて可能な限り演習形式で原典を読む進め、後半は、『黄帝内経』の素問編と靈樞編の総論にあたる部分を中心に読み進め、両編の概要把握に努めるとともに、原典読解力を養う。 |

■ 基礎科目履修免除制度に該当する条件

次の(1)(2)のいずれかの学校で基礎科目単位を取得した方

(1) 日本国内の4年制大学および短期大学

(2) 厚生労働大臣または文部科学大臣の指定を受けた次の医療関係職種養成校

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師、看護師、歯科衛生士、
診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、
臨床工学技師、義肢装具士、救急救命士、言語聴覚士

■ 提出書類

- 単位互換申請書(基礎分野)
- 成績証明書または単位修得証明書の原本

※ 成績証明書または単位修得証明書は、発行されてから6ヶ月以内の原本に限ります。

■ 提出日

- 2025年3月19日(水)までに郵送または持参

※ 2025年3月20日以降の提出は原則認められませんのでご注意ください。

ただし、入試日程の関係で、提出が間に合わない場合は個別に対応させていただきます。

※ 対象科目が2年次であっても入学後の申請は認められませんのでご注意ください。

■ 提出先

- 東洋鍼灸専門学校 入試事務局

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-4-4

※郵送の場合、封筒の表に「単位互換申請書類在中」とご記入ください。

■ 結果発表

- 入学後に教室に掲示します。

■ 聴講制度

単位互換をするか迷っている場合は、『単位互換申請書』の授業聴講欄の「希望」に○をつけてください。

その科目の初回と2回目の授業を聴講した後、単位互換を取り下げることが可能です。

その際は速やかに担任にご相談ください。

『単位互換取下書』を提出していただきます。

取り下げた科目は、通常どおり期末試験を受験し単位を修得する必要がありますのでご注意ください。

■ お問い合わせ窓口

入試事務局 TEL:03-3209-5436